

編集後記

昨年公表した長期ビジョンに掲げた「担い手の確保・育成」「生産性の向上」を本年は主に特集で取り上げてきました。「担い手の確保・育成」と「生産性の向上」は車の両輪で、これから建設業に入職し、生涯を託す若者を確保するうえで必要不可欠です。建設業を魅力ある産業として次代に引き継ぐため、皆さんと引き続き頑張っていきたいと思えます。来年もよろしくお願いたします。(M)

特集取材のため、初めて兵庫県へ行きました。都会のイメージがあったのですが、取材現場である宝塚市切畑へ向かうと、どんだん山の奥深くへ…。現場へ到着すると周りが山しかない、まさしく「陸の孤島」で驚き！所長へのインタビューで「ここは携帯電話が通じない場所だった」と聞き、未だにそんな場所があるのかとさらに驚いてしまいました。当たり前携帯電話やインターネットが使える環境って、実はすごいことだなと実感する取材でした。(T)

発行 一般社団法人 日本建設業連合会
〒104-0032
東京都中央区八丁堀2-5-1
東京建設会館
TEL 03-3553-4095
FAX 03-3551-4954
URL <http://www.nikkenren.com/>

発行者 有賀長郎
企画・編集 一般社団法人 日本建設業連合会
広報委員会

制作 株式会社Kプロビジョン
デザイン 株式会社コンセント
印刷 株式会社耕文社

©2016 日本建設業連合会
「ACe建設業界」は日本建設業連合会の登録商標です

年間購読料：4,800円(送料込)

≪新刊紹介

≪新刊紹介



本作は、ダム造りに取り組む若手技術者生沼おひぬまが葛藤を乗り越えながら成長していくビジネスドラマで、二〇一四年十月から二〇一六年五月までの一年八カ月の間に一五回にわたって『PRESIDENT NEXT』（プレジデント社刊）に「ダムの日」というタイトルで連載されていた漫画を単行本として取りまとめたものである。

主人公の生沼は土木技師で、妻と二人の子ども（息子と娘）の四人家

族。八年に渡るダム建設現場赴任前の家族旅行から物語は始まる。生沼は高校生のとき、阪神・淡路大震災で祖母が被災した。被災した祖母を見舞いにいき、そこで被災者に寄り添う土木技術者と出会い、土木技術者を志し建設会社に就職した。単身赴任先の現場は複数の会社が合同で工事を行うため、赴任先の作業所で顔見知りが一人もいなく暗くなっていた生沼だったが、小学校の幼馴染である木島と再会し、まわり

の景色が急に明るくなった。縁の下の力持ちと称されることの多い土木業界で、仕事の意義を一つひとつ学んでいく生沼。働く喜びと葛藤、ダム周辺に住む人との出会い、支える家族への想いとは——全一五話の連載の中で、土木の世界や人間模様がリアルに描かれている。また、ダム建設の醍醐味やものづくりの楽しさなども描かれており、建設業界の理解にも一役買ってもらえるものと思う。

著者：羽賀翔一
発行：株コルク
出版社：徳間書店
仕様：B6判 281ページ
定価：741円(税別)